

日時<場所>	2023年3月14日(火) 16:00~16:30 <リモート開催 (Teams) >			
出席者 (計6名)	議長	神田 由美	従業員代表委員	木村 由紀子
	産業医	平良 素生	従業員代表推薦委員	出口 玲子
	衛生管理者	藤田 恵子	従業員代表推薦委員	平柳 智子

## 1. 労働災害・時間外労働・休暇取得状況報告（2023年2月度）

### (1) 労働災害・交通災害状況

	労働災害(名)		交通災害(名)		
	休業	不休業	加害	自損	被害
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	1	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	0

### (2) 年次有給休暇取得と法定外労働時間（8時間/日、45時間/月）

	対象人数 (名)	有給休暇取得 平均日数(日)	法定外労働 平均時間(H)	8時間超 人数(名)	45時間超 人数(名)
4月	60	1.0	4.2	0	0
5月	61	1.7	14.0	0	0
6月	63	0.5	12.3	0	0
7月	63	0.6	6.4	0	0
8月	63	2.9	17.1	0	0
9月	64	1.0	14.1	0	1
10月	64	0.6	7.4	0	0
11月	64	0.8	12.0	0	0
12月	67	1.4	12.6	0	0
1月	67	1.1	5.5	0	0
2月	66	1.0	16.1	0	0
平均	64	1.1	11.1	0	1

## 2. 花粉症について

花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花の芽が多く形成され、翌年の春の飛散量が多くなるといわれています。2022年の夏（6月～8月）は「高い気温・少ない雨・多く日照時間」となり、スギの花の芽の形成に良い条件となりました。さらに、2021年～2022年に花粉飛散量が少なかった地域が多く、スギの木に花の芽を形成させるエネルギーが蓄えられていたため、より一層、スギの花の芽の形成が促進されたと考えられます。

### <特徴について>

花粉症は、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎の中でもスギやヒノキなどの春の花粉が原因によるものが多く、主にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、充血などが生じます。

### <花粉症の原因>

花粉症の約70%はスギ花粉症だと考えられています。これはわが国には全国の森林の18%、国土の12%をスギが占めているためです。また、スギと並んでヒノキも植林面積が広く、ヒノキも要注意です。

### <症状について>

花粉症の症状は、水のような「鼻水」と、繰り返す「くしゃみ」、「鼻づまり」が3大主徴です。

### <治療などについて>

花粉症の治療は、アレルギー性鼻炎に対する治療と同じであり、治療には「薬物療法」、「アレルギー免疫療法」、「手術療法」の3つがあります。

### <花粉症における鼻や目のケア>

- ・鼻のケア → 鼻の洗浄、鼻の粘膜の保護、室内の加湿、マスク
- ・目のケア → 目の洗浄、目の疲労の回避

### <花粉飛散時の外出時の注意>

- (1) 花粉情報を入手し、対策をたてる。
- (2) 花粉が多く飛びやすいときを認識する。(雨の日、雨上がり、朝と夕方)
- (3) 花粉回避の服装を選ぶ。(花粉が付着しにくいような表面がツルツルした上着など)
- (4) 帰宅時に花粉を払う。

## 3. 他場所事故・災害情報について（三菱ケミカル社）

【発生件数】（2023年2月）重大労災1件、休業労災2件、不休業労災4件、軽微労災4件

【労災内容】

- (1) 樹木回収作業中に左手裂創（重大労災）
- (2) クリールエリア移動時における中背部痛<急性>（休業労災）
- (3) 樹木剪定作業中に脚立から転落（休業労災）

## 4. 来月度開催予定日時：2023年4月18日(火) 16時～17時 リモート開催 (Teams)